

## 令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（66） 学校名 豊田市立明和小学校

### 1 テーマ

ふるさとに学び、心豊かに生きる「WE LOVE 明和」  
ー 明和のよさに気づき伝えよう ー

### 2 ねらい

- ・自分たちが住んでいる地域に目を向ける活動を通して、地域のひと・もの・こととふれあい、身近な環境「ふるさと明和」と自分たちとのつながりや「ふるさと明和」のよさを知るとともに、ふるさとに愛着をもつ子どもを育てる。
- ・地域講師招聘による全校和太鼓活動や栽培活動などを通して、地域の方が学校に寄せる思いを知り、情意面での充実を図る。
- ・心の相談員による相談活動を通して、悩みや困りごとの早期発見、早期解決に努め、安心安全な学校づくりをする。
- ・校内整備員による環境整備を通して、教育活動を行うために安全で快適な環境を整える。

### 3 活動内容

- ・生活科や総合的な学習の時間との関連を図り、年間計画を作成した。（4月）
- ・地域ボランティアの方から指導を受けながら、野菜や花、ブルーベリー栽培活動（主に剪定作業）を進めた。また、収穫した作物を使ってポップコーン、ジャム（ブルーベリー・梅）、梅ゼリー、サツマイモ料理（サツマイモスティック・サツマイモと肉炒め）を作って振舞った。（4月～2月）
- ・地域の森林について、森林保全に携わる方から話を聞いたり、間伐体験をしたりして現状と保全活動の大切さを体験的に学んだ。森林保全のために自分たちにできることを考え、地域の人に発信する。（4月～3月）
- ・福祉教育として、高齢者との交流会を計画し、施設を訪問して交流会を実施した。また、ボッチャ体験や高齢者疑似体験を行った。（4月～12月）
- ・地域講師による指導を受けながら和太鼓活動に取り組み、初釜の会で発表した。（5月～1月）
- ・図書ボランティアによる読み聞かせを行った。（5月～2月）
- ・心の相談員による定期的な教育相談や日常的な情報共有を行った。（4月～3月）
- ・校内整備員によって、安全で快適な環境を整えた。（4月～3月）

### 4 成果と課題

- ・地域のひと・もの・ことを知ることで、地域の方々が「ふるさと明和」を大切にしていることに気づき、学校や自分たちにとのつながりを感じることができた。
- ・低学年は、地域講師に教えていただきながら栽培活動を行い、作物を育てる大変さ

とやりがいを感じた。また、栽培した作物を使って、梅ジャムや梅ゼリー、サツマイモ料理（サツマイモスティック・サツマイモと肉炒め）を作って味わったり、全校に振舞ったりして収穫の喜びを感じ取った。

- ・ 中学年は、これまで行ってきたブルーベリー栽培を受け継ぎ、地域講師から世話の仕方やネット張り方、剪定の仕方などを体験的に教わりながら活動した。収穫したブルーベリーでジャムを作って味わったり、全校児童に振舞ったりした。
- ・ 中学年は福祉の学習も行った。高齢者や障がいのある方の生活について調べたり、ボッチャ体験や高齢者疑似体験を行ったりして、苦労や不便を体験的に学び捉えた。また、高齢者との交流会を計画し、施設を訪問して交流会を実施した。こうした学習から、互いの違いを理解し、相手を思いやる気持ちと行動が大切であることを学ぶことができた。
- ・ 高学年は、地域の森林の現状について調べ、現場に出向いて様子を観察したり森林の保全に携わる方から話を聞いたりした。そして、間伐を実際に体験することで、山林の維持保全の大切さを感じ取った。今後、学んだことや自分たちにできることをまとめ、ポスターを作って足助市街の事業所を回り、掲示していただくことで、情報を発信する予定である。
- ・ 低・中・高学年ともに、学習のまとめの発表会を実施し、そこにお世話になった方を招待し、思いを色紙にして感謝の意を伝えることができた。これらの活動を通し、携わってくださった方々の温かさを感じ、自分たちが支えられていることをありがたい思いとして捉えるようになった。また、地域と学校がさらに近づき、互いに協力して活動することができている。
- ・ 継続的な図書館司書や図書ボランティアによる読み聞かせ、和太鼓活動を通して、豊かな感性を育むことができた。特に、和太鼓活動は、明和太鼓として17年間続いており、子どもたちは、伝統を受け継いでいることに誇りをもち、胸を張って練習に励み、成果を披露している。
- ・ 心の相談員に子どもたちの様子を見たり話を聴いたりしていただくことで、子どもたちが安心して生活できる一助となった。
- ・ 学校だよりや学級通信、ホームページなどで、取組の様子や成果、活動への参加の呼びかけなどを発信することで、本事業への理解をいただいている。保護者による学校評価では、特色ある学校づくりの項目では、R4年度から一年毎に、0.3ポイント、0.1ポイント、0.4ポイントと上昇している。
- ・ 学校運営協議会でも学校づくりの視点と活動内容等を伝え、協力していただいている。そして、「地域を学ぶことはとてもよいこと」「本事業は地域のコミュニティとしての学校の役割をより強固なものにしている」「これからもぜひ続けてほしい」という声をいただいている。また、保護者アンケートからは本事業に対し8割以上の賛同を得ている。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ ホームページを更新（計15回）し、それぞれの取組を紹介した。
- ・ 学級通信で、その都度、内容や成果について写真や子どもたちの声も掲載しながら具体的に紹介した。また、学校だよりでも各取組を紹介し、学区の全戸に配付した。